

AI・HALL自主企画Vol.54

# AI・HALL演劇学校グッドラックシアター

5th ANNIVERSARY  
AI・HALL  
PRESENTS



# アノバツ

～W・シェイクスピア「から騒ぎ」より～  
脚本・深澤慶子 演出・洞口ゆずる

1993.12/18 SAT 19 SUN AI・HALL

PM7:00

PM2:00

前売・当日共1,000円 (自由席)

吉平弓子 山田あかり 宮崎俊行 藤原香恵 藤田愛子 秀田 茂 西原英子 永田みどり 中田あかね 趙 千里 竹中美香子 高野 恵 棧敷陽子 佐々木愛 佐賀衣久子 児玉成子 倉本京子 具島千恵 清本章義 加納千晶 加藤直樹 片岡淳一 岡田昌也 岩本 篤 今西貴幸 伊藤文佳 池田裕子 秋田倫子

CAST

# 恋のバブル

～W・シェイクスピア「から騒ぎ」より～

脚本●深澤慶子 演出●洞口ゆずる

会 場 ● AI・HALL  
 (JR伊丹駅前・阪急伊丹駅より徒歩10分)  
 日 時 ● 1993年12月18日(土) PM7:00開演  
 19日(日) PM2:00開演  
 ※開場は開演の30分前  
 お問い合わせ ● AI・HALL ☎0727-82-2000  
 チケット取扱 ● AI・HALL ☎0727-82-2000  
 チケットぴあ ☎06-363-9999  
 チケットゼン ☎06-308-9999  
 前売開始日 ● 1993年10月10日(日)  
 主 催 ● 伊丹市

## あらすじ

時はバブル経済絶頂期。三幸證券のキャリアウーマン・佐富亜矢と朝沼薫は、「結婚なんかで男に縛られるなんて真っ平ごめん。」と毎日、仕事に遊びに楽しく暮らしていた。ところが、取引先の製菓会社のパーティーで、佐富亜矢がその御曹司・志方院陽に一目惚れ。みんなに祝福されて、話ほとんどん拍子に結婚へ……。ついでに朝沼薫と、日頃口ケンカの絶えないフリーライターの片桐修平をくっつけようときまざまな画策がなされる。そうこうするうちに陽と亜矢の結婚式を迎えた。その式に突然現われた謎の女性。晴れやかな式が一変して……。

シェイクスピアの『から騒ぎ』(つまり古典)を題材にして、グッドラックシアターを作りあげようと考えた時、二つのプランが浮かんだ。一つは、昨年度上演した江戸元禄時代の火消しの話。もう一つは、今年度のバブル絶頂期の証券業界の話。昨年度は原作を矮小化しただけだったかもしれないが、時代劇の『かたち』を借りて、なんとか芝居にできたとと思う。今年度は、昨年度の原理解を踏まえて、現代劇として『ふつうに』楽しめるよう作品をより練ったつもりだ。ともかくも、演劇学校の公演に、このような創作的(台本レベルの)要素を取り入れるのは、少々無謀な行為かもしれない。なぜなら、役者たちには、人物の感情の流れをつかみ、集中し、また自分自身の人間の魅力を生かせるよう工夫しなさいと言っているからだ。これはとても基本的なことだ。なのに生徒が書いた台本をテキストとすると、未完成なセリフ運びが役者たちを混乱させる。しかしである。役者たちが演じたいと思うとき、自分たちに似合う自分たちの台本を求めると言うのはとても自然なことではないか。アイホール演劇学校は、単なる役者の養成機関ではなく、「ドラマとはなにか」の問いかけをもとに、演劇を造りあげる過程の中で、なにかを学ぶ場だとしたい。台本づくりに励む者がおり、役者をめざす者がおり、小道具を集め、チラシを作り、観客を集めるために走りまわる者がいる。残念ながら、照明や音響効果といった専門技術者を育てる場はない。だが、これで充分だと思っている。芝居を自分で作ってみたい、どうやって作ればよいか迷っている人は、ぜひ見に来てほしい。



洞口ゆずる

STAFF  
 舞台監督・照明 ● 森 和雄  
 音響効果・道曲 ● Alain Nouveau  
 振 付 ● 小安展子  
 重伝美術・デザイン・大陸  
 演出補助 ● 森 昌子  
 脚本補助 ● 中塚奈穂美  
 脚本補助 ● 松本泰成  
 小道具・衣装 ● 井上雅子  
 作 ● 福島史子

## 「演劇学校生によせて」

私たちの演劇学校の主たる目標は、演技の実際的な定義である「舞台のうえで完全なりアリティ」をつくりあげられるよう訓練することです。だからこそ、演技は芸術だと思えるのです。いうならば、何も無いところから、真理と真実と美をつくりだすこと、私たちのまわりの人生の基本的な手段とそれを関係づけること、それができるようになって初めて、私たちは演劇とその作品を芸術形式に移しかえたとと言えるのではないのでしょうか。

大石時雄

## 1994年度AI・HALL演劇学校第6期生募集

### ●募集要項●

#### 1.授業内容→

- 演技実習 (前期授業においては、オーディションにより2クラスに分かれます)
- 実習公演 89年度『踊子』(北村想・作)  
 90年度『雪やこんこん』(井上ひさし・作)  
 91年度『トイレはこちら』(別役実・作)  
 92年度『から騒ぎ』  
 (W・シェイクスピア・原作/演劇学校生・翻案)

#### 2.修業期間→1年(平成6年4月～平成7年3月)

#### 3.講師→洞口ゆずる(A計画主宰)

大谷 潔(演出家)

大石時雄(AI・HALLプロデューサー)

#### 4.応募資格→原則として、18～30歳の男女(※高校生不可)

#### 5.応募方法→

- AI・HALL所定の受講申込書に必要事項を記入し、写真(上半身4×3cm、3ヶ月以内撮影)を貼り付けたもの。
  - 作文「私の好きな人について」(家族、恋人、タレントなど)のテーマで、400字詰原稿用紙2枚程度。
- 以上のものをホール事務局まで提出して下さい。(郵送可)

#### 6.応募締切→平成6年3月16日(水)消印有効

#### 7.オーディション→平成6年3月23日(水)午後7時開始(面接と演技)

#### 8.開 校→平成6年4月 6日(水)午後7時

#### 9.受 講 料→年間48,000円(前後2期に分けて納付)

お問合せ●AI・HALL(伊丹市立演劇ホール) 〒664 伊丹市伊丹2-4-1 ☎0727-82-2000

受講申込書はAI・HALL事務局にあります。

◆郵送ご希望の方は、62円切手を貼った封筒を同封し、上記宛先までお申し出下さい。